

CAMUIT ロケット 打ち上げ実験中止 大樹でエンジンに問題 予定

【大樹】町浜大樹で30日に予定されていた実用気象観測用小型ロケット「CAMUI(カムイ)型ハイブリッドロケット」の打ち上げ実験が中止となった。実施主体のNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC、札幌市)が23日に発表した。今回の打ち上げは町内で5月に予定され、4カ月延期した実験だった。

HASTICによる、3月時と同様、エンジンが異常燃焼する問題があり、「根本的な解決が必要」と判断して中止を決めた。

同ロケットは無火薬式で、北天大学の永田晴紀教授ら道内の研究者が中心となって開発している。町内で通算5度目となる今回のロケット打ち上げ実験は全長3・7メートルの機体を高度10メートルまで飛ばし、海で回収する予定だった。

町総務企画課は「大変残念だがやむを得ない」としている。

HASTIC「少なくとも研究は今年上げ実験再開は未定」として、Cの伊藤徹「副理事長は一度はしゃかか。打ち話している。(松村智裕)